



【学校教育目標】

- ・よく考え 勉強する子
- ・なかよく 助け合う子
- ・じょうぶで がんばる子

読書の効果は一目瞭然

苫小牧市立豊川小学校 教務主任

10月も終わりが近付き秋も深まるばかりです。秋になるとよく「〇〇の秋」と耳にしますが、本号では定番の「読書の秋」をテーマにお伝えしたいと思います。学校長が掲げる豊川小の学校経営の重点の1つに「読書の推進」があります。すでに保護者の皆様にも PTA 活動として読み聞かせにご協力をいただいております。本当にありがとうございます。

さて、「読書好きな子どもは学校の成績もいい」とよく言われますが、なぜでしょうか。読書と成績の因果関係は何なのでしょう。この点について、カリフォルニア大学客員教授・大阪大学大学院助教授等を歴任した心理学博士の榎本博明氏が「勉強ができる子は何が違うのか」という著書の中で、次のように記しています。

文部科学省によって実施された全国学力・学習状況調査の結果と、その対象となった小学6年生および中学3年生の子どもたちの保護者に対する調査の結果を関連づけた調査報告書では、蔵書数の多い家庭の子どもほど学力が高いことが示されている。小学6年生のデータを見ても、蔵書数が0～10冊の家庭の子どもよりも11～25冊の家庭の子どもの方が学力が高く、それよりも26～100冊の家庭の子どもの方が学力が高くなっている。蔵書数が増えるほど学力は高くなっていき、501冊以上の家庭の子どもが最も高くなっていた。また、心理学者の猪原敬介たちは、小学校1年生から6年生までの児童を対象に、読書量と語彙力・読解力の関係についての調査研究を行い、読書時間や読書冊数、学校の図書室からの図書貸出数などから測る読書量が多い子ほど、語彙力も読解力も高いことを見出している。

ものを考える際には、頭の中を言葉が駆けめぐっている。このように言葉でものを考えるということ、そして本を読むことで語彙力や読解力が高まるということから言えるのは、読書することで思考力が高まるということである。思考は持っている言葉に制約を受ける。読書によって心の中に言葉を蓄積することが、知的発達につながっていくのである。本を読めばいろいろな言葉に触れることができる。知らない言葉に出会うこともあるだろうが、そのときは文脈を手がかりにその言葉の意味を推測して読み進めていくことになる。このような読解作業は知的鍛錬になる。

一方、小学生のレベルを超えた語彙のほとんどは、話し言葉でなく書き言葉の中に出てくるものである。読書をすることで、日常会話では使わない言葉を獲得していくことができるが、読書せずに日常会話や SNS のつぶやき程度のやり取りくらいの言葉にしか触れていなければ、中学校以降の勉強で使われる抽象的な言葉を獲得する機会がなくなり、語彙は小学生レベルから増えていかない。

上記以外にも、読書は想像力を豊かにします。この想像力は、円滑な人間関係を育む中でも重要な力と考えます。相手の立場、気持ちなどを推し量ることができるかどうかは自身の学校生活を豊かなものにできるかどうか大きく左右するのではないのでしょうか。もちろん習慣が大切なので数回読んだだけではあまり意味はありません。ちなみに我が家では、定期的に図書館から本を借りておいて、リビングに置いておきます。そうすると、息子は何気にも手に取って読んでいます。小説などの読み物だけというのはハードルが高いので、学習漫画や図鑑的な内容の本を多めにしています。絵本なども十分有効だと思います。ぜひお試しあれ。



11月の行事予定

- 3日(月) 文化の日
6日(木) 英検 ESG(6年)
7日(金) 特別日課4時間
(※公開学級のみ5時間授業)
豊川小学校公開研究会
フッ化洗口
10日(月) 全校読書の日
家庭学習強化週間～16日
13日(木) 教材費引き落とし日
こころの授業(3年)
14日(金) フッ化物洗口
17日(月) 児童会
18日(火) 眼科検診(対象児童のみ)
居住地交流(苫小牧支援学校)
21日(金) 通常日課4時間
パーソナルワークデー
フッ化物洗口
絵画作品展～12/2
23日(日) 勤労感謝の日
24日(月) 振替休日
25日(火) 通常日課5時間
参観日(1・2年、たいよう)
27日(木) 通常日課5時間
参観日(3・4年)
28日(金) 通常日課5時間
参観日(5・6年)
フッ化物洗口

一斉下校訓練のお礼

9月30日には、災害等を想定した児童引き渡しのための一斉下校訓練を行われました。ご多用の中、多くの保護者にご参加いただきありがとうございました。

記憶にも新しいですが、夏休み中にカムチャツカ半島を震源とした地震によって発生した津波の影響で津波警報が発令され、豊川小にも多くの方が避難されました。胆振東部地震もそうですが、災害はいつ起こるか分かりません。そのため、日ごろからの備えが何より大切です。今回の訓練もその一環になります。ぜひ今一度、避難道具の見直し、避難先、落ち合う場所などを家族で話題にしてみてください。

学習発表会を終えて

11日(土)の学習発表会では、お忙しい中にもかかわらず多くの保護者にご来校いただきありがとうございました。

どの学年の発表を見ても、子ども達が発表の成功を目指し個々に努力する姿、そして友達と協力して取り組む協働的な姿をご覧いただけたでしょうか。この行事を通じて得た学びを、今後の学校生活に生かすことができるよう学校として支援していきたいと思います。

eライブラリ保護者機能について

さくら連絡網でもお知らせしましたが、2学期よりeライブラリの保護者機能を試験的に使用開始しております。

この保護者機能ですが、保護者のスマホで保護者アカウントを登録していただき、その上でお子さんを登録していただくとeライブラリの学習記録や結果が確認できるというものです。

これまで持ち帰りも含め、「何をしているか分からない。」「どんな結果か成果を知りたい。」という声がありました。今回、その声にお応えできる運びとなりました。詳細は、学校ホームページをご覧ください。

出前講座(3年・5年)

9月25日には、5年生を対象とした総合的な学習の時間の出前講座を実施しました。また、9月29日には、3年生を対象にした社会科の「カルビー出前講座」を実施しました。

5年生は、SDGsをテーマにした内容となり、後期の学習の導入に当たります。宿泊学習で、自然と触れ合い、そして今回の出前講座で現状を確認することから学習が展開されます。自然と共存するために自分にできることは何かを見出すことができればと考えています。

3年生は、社会科の工場見学として、オンラインでカルビーのポテトチップス工場の様子を見て学習しました。当日は講師も来校し、工場の様子を現場とつないでやり取りしながら案内してくれました。オンライン工場見学では、普段見ることのできない工場内部が映され、児童は熱心に視聴していました。お土産のチップスもいただき、大変満足な様子でした。